

「語りもんそ」

Vol.49 平成29年 11月 30日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪ カフェ ミニコンサート

出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ”

毎月1回 日曜日の午前 10時 30分から 11時 15分まで開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)

●10月8日(日)は、石堂美沙紀さん(フルート)と山中礼美さん(ピアノ)のお二人で、F.ゴセック作曲「ガヴォット」、G.ビゼー作曲「アルルの女」よりメヌエット、G.フォーレ作曲「ヴァルス=カプリス 1番」、V.ユーマンズ作曲「Tea for two」、H.マンシーニ作曲「Moon River」、A.メンケン作曲「パート・オブ・ユア・ワールド」、「秋」メドレーとして岡野貞一作曲「紅葉」、海沼實作曲「里の秋」、小林秀雄作曲「まっかな秋」、A.ピアソラ作曲「リベルタンゴ」など10曲とアンコールにA.ギャニオン作曲「めぐり逢い」が演奏されました。



石堂美沙紀さん(フルート) 山中礼美さん(ピアノ)



○お客様に感想をお聞きしました

・坂上佳乃子さん 鹿児島市
「気持ちの良い日曜の朝を過ごすことができました。丁寧なフルートと軽やかなピアノのハーモニーがとても心地よかったです。

音楽に詳しい方ではありませんが、今日ほどの楽曲も耳にしたことがあり初心者の私でも楽しく聴くことができました。

特に「秋メドレー」は時期もぴったりで音楽で季節を感じました。

今日のコンサートで、ピアノとフルートがますます好きになりました。また素敵な演奏を聴きに来たいと思います」



出演者と 坂上佳乃子さん(中央)

●11月12日(日)は、松元愛依さん(メゾ・ソプラノ)と堀ノ内菜摘さん(ピアノ)のお二人で、作詞：J.W.ゲーテ・作曲：F.シューベルト「のぼら」、作詞・作曲：武満徹「明日ハ晴レカナ曇リカナ」、作詞：古謝美佐子・作曲：佐原一哉「童神」、作曲：L.V.ベートーヴェン「ピアノソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2 “月光” 第1楽章」、作詞：織田ゆり子・作曲：上柴はじめ「赤い屋根の家」、作詞・作曲：尾崎亜美「オリビアを聴きながら」、作詞：谷川俊太郎・作曲：武満徹「うたうだけ」、作曲：G.ビゼー「オペラカルメンより“ハバネラ”」など8曲とアンコールに作詞：三井ふたば・作曲：中田喜直「むこうむこう」が演奏されました。

お客様から「松元さんのすてきな歌声に癒されました。情感のあるピアノ演奏もすてきでした」などの感想をお聞きすることができました。



松元愛依さん(メゾ・ソプラノ) 堀ノ内菜摘さん(ピアノ)



宝山プレゼンツ

ブラス・ヘキサゴン&クワチュールB
サクソフォーン四重奏

10月22日(日) 宝山ホール

体感するサウンド！ 究極のアンサンブル！

出演はブラス・ヘキサゴン(金管六重奏)、クワチュールBサクソフォーン四重奏。鹿児島県出身のお二人、外園祥一郎さん(ユーフォニアム)と有村純親さん(サクソフォーン)が所属する二つのアンサンブルの演奏は鹿児島の音楽ファンを魅了しました。

〇お客様に感想をお聞きしました

・上山栞里さん (松陽高等学校 音楽科)

「今日の演奏はとても素晴らしく勉強になりました。憧れの先生方の音はきれいで、私も先生方のような音を出せるようになりたいと思いました。

今日の演奏会で学んだことをこれからの練習にかかして、いい音楽を奏でられるようになりたいです」

・松下碧華さん (松陽高等学校 音楽科)

「芸術、技術面共にとても刺激を受けた演奏会でした。音楽をするうえで、今自分に足りないことを見つけることができ、これからの個人練習やアンサンブルなどで生かしていけたらいいと思いました。

とても楽しかったです」



左から 上山菜里さん 濱崎つぐみさん 榎本菜奈さん
松下碧華さん 中菌舞さん

・岩井田さくらさん (松陽高等学校 音楽科)
「プラス・ヘキサゴン」はアレンジされた曲が多く、それぞれの楽器のよさがでていて聴いていてとても楽しかったです。また、音が重なったときの倍音が凄くて本当に驚きました。クワチュールBは演出が面白くてとても魅せられる演奏でした。また、曲によって艶のある柔らかな音色やパリッとしたかっこいい音を聴いて改めていい楽器だなと思いました。

金管楽器と木管楽器の違いとそれぞれの良さを聴くことができとても楽しかったです」



岩井田さくらさん

・茶園結衣さん (神村学園高等部吹奏楽部サクソパートリーダー)
「一人一人の音色がとてもきれいで、特にPの小さい音がまとまって束になり届いてきました。サクソフォン四重奏の中で“ボレロ”が一番かっこよくて見ていてとっても楽しめました」

●神村学園高等部吹奏楽部サクソパートの皆さん



後列左から 瀧脇麻衣さん 西野菜月さん

前列左から 大迫楓華さん 茶園結衣さん 泊愛華さん

演劇

『田茂神家の一族』

11月7日(火) 宝山ホール

【作】三谷幸喜・【演出】山田和也による、劇団東京ヴォードヴィルショー第71回公演は、ある村の村長選挙をめぐる、親族の争いを描いたコメディで出演は佐藤B作さん、角野卓造さん、石倉三郎さん、鹿児島出身の俳優大迫右典さんも出演されました。

〇お客様に感想をお聞きしました

・梅木詩織さん 始良市
「最後までハラハラドキドキ楽しんで観ることができました。小さい頃から皆を笑わせるのが上手な右典君とは高校も一緒に、演劇部で頑張っていた姿を見ていたので、今日は幼馴染の晴れ舞台を観ることができ嬉しかったです」



梅木詩織さん

・清水未来さん（鹿児島高等学校演劇部）
「こんなにずっと釘付けになる演劇は初めて観ました。私は演劇部なのでいつか“田茂神家の一族”のようなすばらしい演劇をやってみたくて思いました。今回観た経験を今後に生かしていきたいです」

・稲森玲奈さん（鹿児島高等学校演劇部）
「私は初めてプロの俳優の方々の舞台を観ました。1秒も飽きることなく芝居に引き込まれとても楽しめました。

役者さんのすばらしい演技に引き込まれ、時折入る歌もジャンルを問わず面白かったです。

笑いなしでは観られないこのお芝居はとても面白かったです」



清水未来さん（左） 稲森玲奈さん（右）

かごしま明治維新博イベント

「演劇講座」

取材日 11月25日（土） 宝山ホール

平成22年度に上演した、「県民による創作演劇

『西郷（せご）どんがやって来た』を明治維新150周年を迎える平成30年度に再演（予定）します。その公演のイベントとして、平成29年12月19日（火）に行われる「演劇講座 成果発表会（演出・講師：豎山博之）」。

出演は、6月3日から始まった「演劇講座」（全20回）に取り組む受講生。講座第12回目となる11月25日（土）は、オーディションを兼ねた本読みと公演内容の概要説明がありました。



本番に向けて台本の本読み

〇受講者にお聞きしました

・田中聖羅さん

「12月19日の成果発表会に向け、“声出し”“滑舌の練習”“台本をいただき台詞の練習”などを6月からやってきました。成果発表会は初めての舞台で不安や緊張もありますが、今まで練習してきたことを出し切れるように頑張ります。

舞台を観たこともない方も十分楽しめる内容だと思いますのでぜひ観にいらしてください」



田中聖羅さん（左） 豎山博之講師（右・演出家）

宝山ホール広報ボランティア 『語いもんそ』編集部
〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール
電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503
撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行